

新年を感じる本
日本の伝統文化にふれてみよう



「お正月の子どもばやし」
さげさかのりこ／作



「お雑煮マニアックス」
粕谷 浩子／著



「しめかざり」
森 須磨子／著

祭り囃子が生まれたのは江戸時代。その時代の音と踊りは今も、子どもたちに受け継がれている。元日に神様に奉納される「子どもばやし」の様子を、「ピーヒャラ」「ドンドコ」といったお囃子の音とともに描く。
さげさかのりこさんは、1963年静岡県生まれ。デザイン事務所を退社後、フリーのイラストレーターとして広告、雑誌、書籍などで絵を描く。
作品に「トレジャーハンター山串団五郎」「美術館にもぐりこめ！」など。

お雑煮ワールドによこそ！白味噌にあん餅雑煮と言えば？武家の雑煮はどの地方？日本で一番メジャーなお雑煮はどこのももの？バラエティに富んだ日本のご当地雑煮を、写真や作り方とともに紹介します。
粕谷 浩子（かすや ひろこ）さんは、1972年生まれ。株式会社お雑煮やさん代表。

紙垂（して）、橙（だいたい）、讓葉（ゆずりは）、裏白（うらじろ）などで彩られるしめかざり。それらの装飾を取りはずし、しめかざりの飾らない姿、藁（わら）が象る「素のかたち」に込められた土地の祈りと人々の願いを読み解く。
森 須磨子（もり すまこ）さんは、1970年香川県生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修了。グラフィックデザインの仕事をしながら全国各地へのしめかざり探訪を続ける。

1月の催しもの		
とき	催しもの	
毎週月曜日	午前11時～	あかちゃん絵本よみきかせ会
毎週木曜日	午前10時～ 午後0時30分	あかちゃんクラブラッコールーム
19日(土) 26日(土)	午前11時～	「おはなし」と「あそび」の広場
12日(土)	午後2時～	
5日(土)	午前11時～ 午後3時～	冬休みおたのしみ会
13日(日)	午前11時～ 午後2時～	子どもビデオ劇場
27日(日)	午前11時～ 午後3時～	子ども科学教室

◆展示会「二宮金次郎像をたずねて！～絵と写真で学ぶ、二宮金次郎の生涯～」1月12日(土)～1月27日(日)

- ◆「農家が教えるもち百珍」 農文協／編
◆「開運えほん」 かんべ あやこ／作
◆「おしょうがつおめでとはじまりの日！」
ますだ ゆうこ／作
たちもと みちこ／絵
◆「十二支のおもちつき」 すとう あさえ／さく
早川 純子／え
◆「日本の美しい食卓歳時記」
J T A A ジャパンテーブルアーティスト協会／著
◆「亥を描く」 水墨画塾編集部／編

扶桑町図書館は
平成31年1月4日(金)より開館します。
休館中の新刊図書については、1月4日(金)に貸出を行います。
また、通常の新刊図書は1月13日(日)からとなります。

俳句 「初点前」
ふそう俳句会

火櫛の茶碗にささと初点前
残る生はあといく年や冬董
初電話嬰は出たいと手を伸ばす
荻野 青歩
佐橋 美智
伊藤美保子

川柳 扶桑川柳クラブ

平成が終わる名残りを惜しむ春
新年へ神社仏閣煤払い
わたしから食べる楽しみとらないで
谷口 妙子
大西 陽子
尾関ときよ

短歌 「平成最後」
ふそう短歌会

ひさかたの光のどけき初春の
平成最後の朝日拜がむ
朝日さす山の傾りの若松の
緑かがやき春を寿ぐ
小野寺紀美代
鳥居 治子
和田 悦子

詩吟 「新正口号」 武田信玄

淑氣未だ融せず春尚遅し
霜辛雪苦豈詩を言わんや
此の情愧ずらくわ東風に咲われんことを
吟断す江南の梅一枝

「意」新年に入ったが気候は未だ和らかず、春の来るのは尚おそい。霜雪の寒さで诗情がわかない、そんな意気地なく無風流ですでに吹きはじめている。それでは川の南の梅の詩を作ってみよう。

正風流二代目家元 山内 正風